

鳥取市総合戦略 骨子(案)

1 基本的視点

本格的な人口減少時代が到来する中で、地域の特色や地域資源を活用し、将来を担う‘ひとづくり’や誰もが幅広く活躍できる‘しごとづくり’、安心して暮らし続けることができる明るい‘まちづくり’など『いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市』の実現に向けた戦略を総合的に進めます。

2 構成

本市の他にはない優位性(強み)や特性を活かし、次の3分野を基本目標に設定します。

I 次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’

II 誰もが活躍できる‘しごとづくり’

III 賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’

3 基本目標と施策例

I 次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’

将来を担う若い世代を中心とした人材育成は本市の更なる飛躍と発展の原動力となります。

郷土を愛し、地域の活性化に寄与する次世代をリードする人材の育成、確保を進めます。

【具体的な施策例】

①教育の充実・郷土愛の醸成

- 家庭・地域・学校の連携によるぬくもりのある教育環境の創出と郷土愛の醸成
- 特有の自然、文化等を身近に楽しむ郷土教育の充実
- 親子を支える地域ネットワークの強化
- 鳥取環境大学等と連携した若者の地元進学・就職の充実

②結婚・出産・子育て支援

- 「すごい鳥取市」婚活サポートセンターなど新たな出会いの支援と情報発信
- 待機児童ゼロ継続に向けた保育サービスの充実
- 保育料の軽減など経済的負担の軽減
- 子育て中の女性に対する就職支援の実施
- ワーク・ライフ・バランスの促進と取組の周知

II 誰もが活躍できる‘しごとづくり’

本市の経済再生と雇用の創出を図るためには人口減少等に左右されない地域の特性を活かした産業基盤の確立が求められます。

地元産業の底上げと地域経済の活性化を図り、誰もが幅広く活躍できる‘しごとづくり’を進めます。

【具体的な施策例】

①経済再生・成長産業の創出

- 成長分野における中核企業となり得る企業への支援
- 地元経済の発展と適正な産業構造の構築に向けた戦略的な企業誘致の推進
- 産学官連携による新産業の創出とネットワークの強化

②地域資源を活用した産業全般の底上げ

- 地域特有の観光資源、農林水産物等を活用した新商品の開発、ブランド化
- 6次産業化の取組強化と農工商等他分野との連携
- 環日本海諸国との経済交流促進と地元企業支援

③地域経済における人材還流と育成強化

- 新規創業やリーダー・後継者育成等に対するキャリア教育の経営支援
- 高齢者の就労支援や技能の活用
- 農業担い手確保など新規就農のための各種支援
- 留学生受入支援による企業の国際化や競争力強化

III 賑わいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’

山陰海岸ジオパークをはじめとする豊かな自然、その自然が育む農林水産物や地域に根差した文化など独自性の高い魅力を活かし、若者に魅力ある、人が賑わい、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

【具体的な施策例】

①独自産業を活かした交流推進

- 「砂像のまち鳥取市」等独自ブランドを活かした滞在型観光の推進と交流人口の拡大
- 特色ある農林水産物、加工品の情報発信及び新たな地域ブランドの育成・販路拡大
- 文化芸術を活かした体験交流や活動支援

②移住定住による人の好循環化

- 県外の若者・中高年の呼び込み・戦略的な情報提供と相談窓口におけるマッチング支援
- 空き家情報の把握等定住創出に向けた環境整備
- 地域住民や団体等による移住定住者を支えるネットワークづくり

③住み良い環境づくり

- 中山間地域での特色を活かした地域生活の再生と買い物支援など多機能な拠点創出
- 路線バス等地域公共交通の利用促進
- 中心市街地活性化の賑わい創出支援と空き店舗の活用による新たな拠点整備
- 定住自立圏等周辺自治体や県外自治体との地域間連携の推進による地域の活性化